

北海道教育委員会教育長 様

北海道東川高等学校長 福田 正 樹

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

## 1 本年度の重点目標

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 学習や特別活動等に主体的に取り組み、自分の夢や目標を大切に、達成に向けて継続的に努力する生徒を育成する。 |
| 2 | 社会性を身につけ、自律的に行動し、他者を思いやることのできる生徒を育成する。               |
| 3 | 様々な人と関わり、自己の在り方や生き方について深く考え、社会で生き生きと活躍できる生徒を育成する。    |

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝学習等による取組により、学習に取り組む姿勢に向上が見られた。</li> <li>「東川学」(総合的な探究の時間)では、地域と協働した取組が加速化し、生徒の主体性の育成に結びついた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習については、基礎基本の徹底について期待する。</li> <li>東川学については、地元企業等と連携し、地域の活性化に繋がる取組を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価を生かし、生成AIやICT機器の利活用など、現代の学びのスタイルを踏まえた授業改善に向け、校内研修に取り組む。</li> <li>「東川学」における地元企業等との連携については、持続可能な取組となるよう、指導計画の改善を図る。</li> </ul>	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会性の向上に向け、身だしなみやマナー等への指導に課題が残った。</li> <li>いじめ防止対策委員会において、生徒一人ひとりに向き合い、外部機関との連携を含め組織的に対応できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来、社会に出るまでに身につけるべきマナー等は、しっかりとした指導を期待する。</li> <li>いじめや不登校等の学校で苦慮することがあると思うが、生徒の成長を見守りつつ寄り添いながら、社会的な自立を促すような指導を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会性の向上に向けた指導は、様々な教育活動と関連した具体的で継続的な指導を行う。</li> <li>いじめや不登校等の対応については、引き続き外部機関等と連携し、組織的な対応を行う。</li> </ul>	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域人材の活用や外部機関と連携した取組等によりキャリア教育の充実を図ることができた。</li> <li>国公立大学など難易度の高い上級学校への進学指導について、組織的・計画的な指導体制に課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会が加速度的に変化していく中で、将来を見据えた指導を期待する。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己理解を深める活動や生徒の特性に応じた指導を継続する。</li> <li>進学指導の充実に向け、放課後や長期休業中における進学講習など、計画的な指導体制を構築する(町の公設塾との連携を含む)。</li> </ul>	
健康安全指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育相談・サポート委員会において、スクールカウンセラーや教育局の特別支援教育スーパーバイザーとの連携により、教育相談に係る取組を充実することができた。</li> <li>交通安全教室、避難訓練、一日防災学校など、地域と協働した取組を改善したことで、危機管理意識の向上を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が抱える悩みや問題(家庭事情等を含む)に対して、学校が関わる事象が複雑化しているように感じるので、外部機関と協力しながら対応していくことを期待する。</li> <li>防災教育については、町内の関係機関との連携について検討を願う。</li> </ul>
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な悩みや困り感のある生徒への理解に努め、組織的でスピード感のある対応を継続する。</li> </ul>	
公表方法	学校ホームページで公表する。	

- 3 添付資料 (1) 令和7年度北海道東川高等学校学校自己評価及び学校関係者評価  
(2) 令和7年度 学校評価アンケート (PTA)